

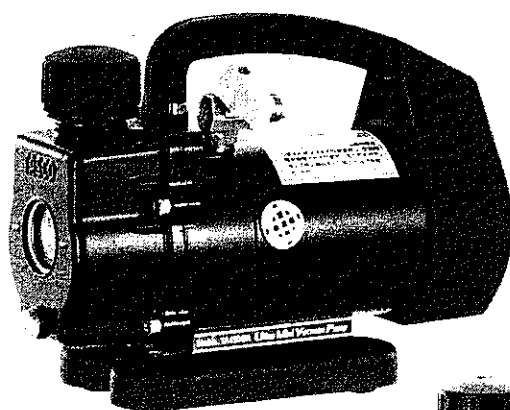


# ウルトラミニ真空ポンプ

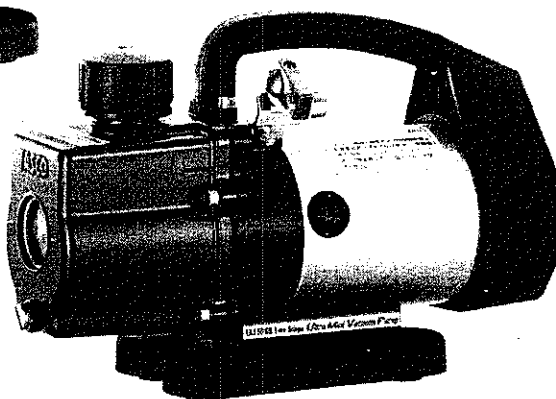
(オイル逆流防止機能付)

TA150SA-2/TA150SB-2

安全のしおり / 取扱説明書 / 保証書



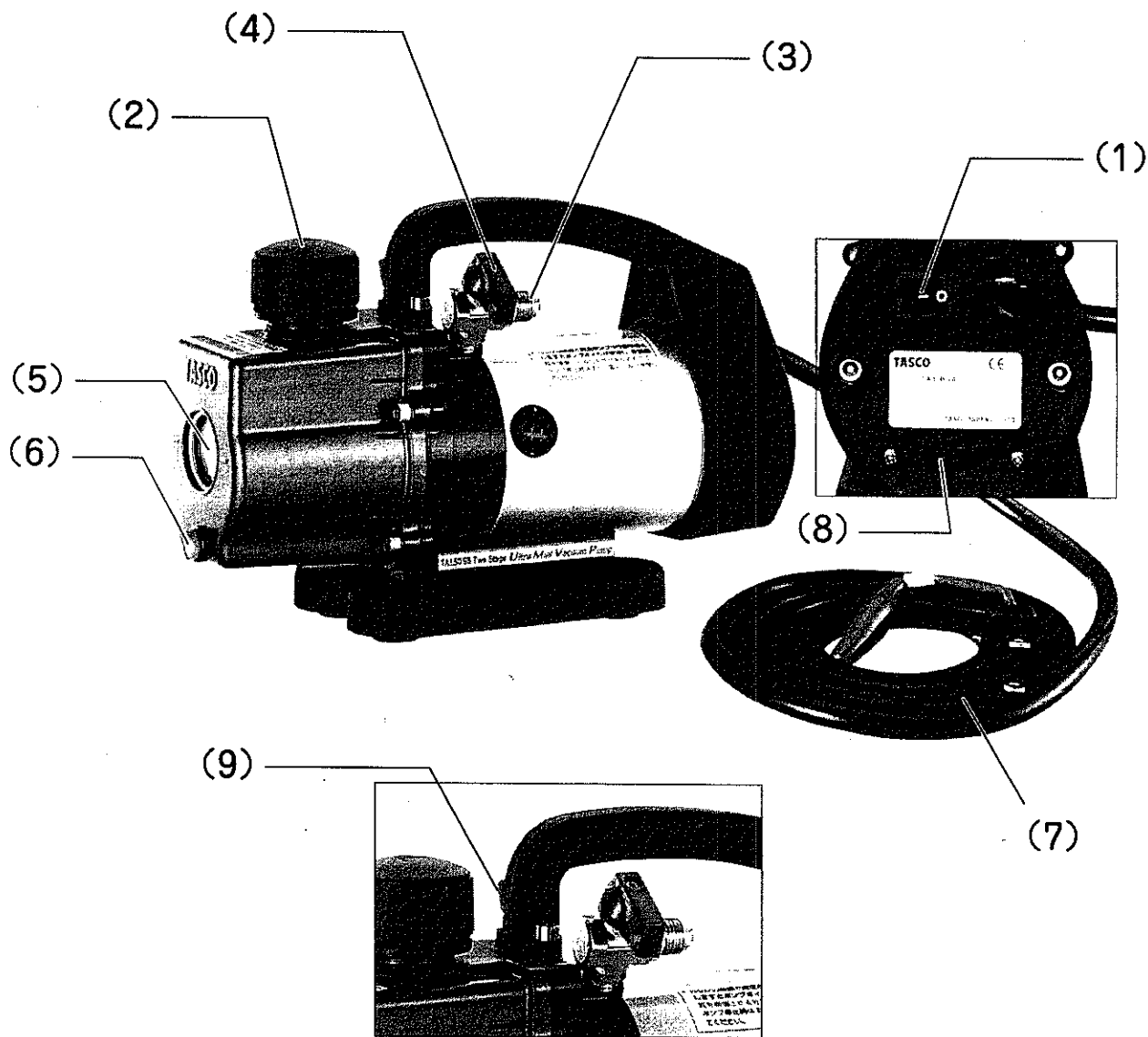
TA150SA-2



TA150SB-2

# 取扱説明書

## 【各部名称】



- |                     |                                |
|---------------------|--------------------------------|
| (1) 電源スイッチ          | (5) オイルレベルグラス                  |
| (2) オイル注入口 (排気キャップ) | (6) オイルドレン口                    |
| (3) 吸入口… 5/16" フレア  | (7) 電源コード                      |
| (4) 吸入口バルブ          | (8) ヒューズボックス                   |
|                     | (9) ガスバラストバルブ<br>(TA150SB-2のみ) |

## 【仕様】

型 式	TA150SA-2	TA150SB-2
ローター方式	シングルステージ	ツーステージ
ドライブ方式	ダイレクト方式	ダイレクト方式
排 気 速 度	40.0ℓ/min	40.0ℓ/min
真空到達度	375ミクロン	38ミクロン
モ ー タ ー	100V/200W	100V/200W
サ イ ズ	120(W)×225(D)×170(H)m/m	100(W)×260(D)×170(H)m/m
重 量	3.7kg	4.3kg
吸 入 ポ ー ト	5/16"フレアオス	5/16"フレアオス
ア ダ プ タ	1/4"フレアオス×5/16"フレアメス	1/4"フレアオス×5/16"フレアメス
電 源 コ ー ド	1.5m	1.5m

## 【運転を始める前に：オイル注入】

1. オイル注入口を外して、付属のポンプオイルをレベルグラスのほぼ真ん中ぐらいまで注入してください。

[注] 真空ポンプ専用のオイル以外は、絶対に入れないでください。また、オイルの入れすぎにご注意ください。

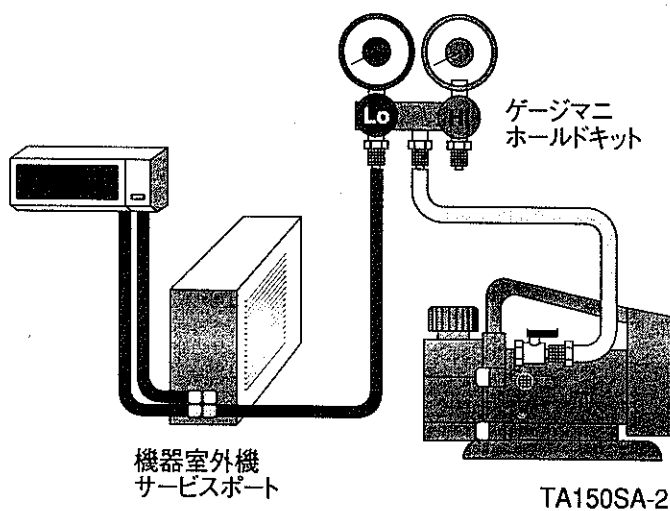
2. オイル注入後、注入口を閉めてください。

◆交換用オイルは、低、高温を問わず高性能なタスコジャパン(株)製 TA117-1,2をお薦めします。

## 【操作手順】

1. マニホールドの左側ポート（低圧側）と空調機器サービスポートとをチャージホース（青色）で接続してください。
  2. マニホールドの真ん中ポートと真空ポンプの吸入側ポートをチャージホース（黄色）で接続してください。
  3. 真空ポンプの電源スイッチをONにしてマニホールドの低圧バルブ（青）を開いてください。
  4. 冷媒配管の長さに応じて真空引きを行いポンプの吸気口バルブを閉じポンプのスイッチを切った後、低圧バルブ（青）を閉じ、マニホールドのゲージ圧を確認してください。
  5. 数分放置後、マニホールドのゲージ圧が先程確認したゲージ圧と同じであれば、システムには洩れがありませんので、真空作業は完了したことになります。
- ※ 空調機器サービスポートが高低圧両側に付いている場合は、マニホールドの赤青両バルブを使用してください。

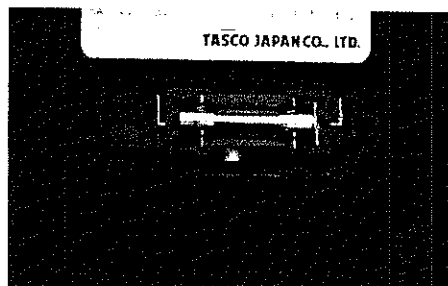
## 【接続例】



真 空 引		
マニホールド	低圧バルブ（青）	開
	高圧バルブ（赤）	閉
真空ポンプ	電 源	O N
気 密 試 験		
マニホールド	低圧バルブ（青）	閉
	高圧バルブ（赤）	閉
真空ポンプ	電 源	O F F

## 【ヒューズの交換】

ヒューズが切れた時はヒューズボックスの蓋を外し、切れたヒューズをホルダーから取り出し、新品購入時に同梱されている交換用ヒューズと取り替えてください。



## 【作業上のご注意】

1. 本機を使用目的以外のことには、決して使用しないでください。
2. 作業時は、必ず安全靴、ヘルメット、保護メガネ、作業服を着用してください。
3. 雨ざらしの状況下での使用および保管は、絶対にしないでください。
4. 本機を移動させる時は、絶対に電源ケーブルを引っ張らずに、ハンドルをもって運んでください。
5. 真空ポンプ用以外のオイルは、絶対に注入しないでください。故障の原因になります。
6. アースは必ずとり、漏電には十分注意を払ってください。
7. 電源を切る時は必ず、電源スイッチを使用してください。決して電源コードを引っ張って電源をOFFにしないでください。
8. 添付の安全しおりを熟読し、理解したうえで使用してください。

## 【オイルの交換】

真空引きを重ねるごとに、オイルは汚れたり、劣化したりします。劣化したオイルを使用すると真空度が低下し、適正な能力を出せなくなります。また、劣化したオイルの使用を続けると、真空ポンプローターに負荷がかかり、真空ポンプの故障につながる可能性があります。定期的にオイル交換するようにしてください。

1. オイルドレン口を開けて、オイルを抜いてください。そしてドレン口を閉じた後、オイル注入口から新しいオイルを注入してください。

なお、汚れがひどい場合……

2. 古いオイルを排出後、新しいオイルを注入する前に、ポンプを洗浄することを勧めます。洗浄方法は新しいオイルを使用します。

- a) オイルドレン口を閉め、注入口より約20～30ccの新しいオイルを入れてください。

オイルドレン口より汚れたオイルを排出してください。その後、真空ポンプを30秒程度始動させてください。これをオイルがきれいになるまで繰り返し行ってください。

- b) 最後に新しいオイルを適量、注入してください。

◆交換用オイルは、低、高温を問わず高性能なタスコジャパン(株)製TA117-1,2をお勧めします。



真空ポンプオイルは、夏場でも真空度を高く保ち、冬場は真空ポンプの起動を妨げずポンプに負担をかけないTA117-1,2をご使用ください。